

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
24501	医療保険実務演習 Practice in Medical-Insurance Processing	木下 秀兆		専門	1	選択	2前期
科目の概要							
医療の高度化が進む中で医療事務に対する専門性と必要性は医療機関で高く評価されています。医療保険制度のしくみの理解と診療報酬請求事務に関する知識を修得し正確なレセプトを作成できる能力を身につける。							
学修内容				到達目標			
① 医療保険制度の概要を学習する。 ② 医療事務の基礎知識を学習する。 ③ 診療行為の点数算定ルールの基礎を学習する。 ④ 診療報酬明細書（レセプト）の作成規則を学び診療報酬請求ルールを学習する。				① 医療保険制度の仕組みを理解し、説明することができる。 ② 医療事務の概要・基礎知識を理解し、説明することができる。 ③ 基本的な診療行為の点数算定を行うことができる。 ④ 診療報酬明細書（レセプト）を作成することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	受け身の姿勢ではなく、自発的に学習に取り組む。					
	働きかけ力	理解不足の項目について、どこがどのように理解不足かを判断し、積極的に質問することができる。					
	実行力	自分の力（知識）で点数算定し、レセプトを完成させる。					
考え抜く力	課題発見力	苦手な分野を自覚し問題点を解決するために行動を起こす。					
	計画力	計画性をもち、実施したことに対しての評価と見直しを常に行い、実行するための計画を作成することができる					
	創造力	自分が取り組んでいることに好奇心をもち、いろいろな観点から物事をとらえることができる。					
チームで働く力	発信力	相手に理解してもらえよう、どう話したら相手に伝わるかを考え、話し方を工夫する。					
	傾聴力	相手の話していることに対して意味を考え、何を伝えているのかを理解する。人の解釈と自分の解釈が異なる場合は、そのままにせず確認する。					
	柔軟性	人との違いを受け入れ、理解することができる。					
	状況把握力	今、自分はどの位置にいるのかを把握し、自分の目標に向かって足りない部分を強化することができる					
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	間違えることを怖がらずに、積極的に発言することができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：（財）日本病院管理教育協会指定テキスト							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：医療保険制度 資格との関連：医事管理士							
学修上の助言				受講生とのルール			
医療保険制度（1年後期）で学習した内容を復習しつつ、具体的なレセプト作成の知識を身に付ける。復習を重要な位置付けとし、学習した内容を繰り返し行うこと。				毎回の授業の積み重ねになるため欠席をしないこと。わからないことは、解消できるよう何度でも質問すること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 医療保険制度の概要を理解している。 各項目の算定ルールをよく理解し、根拠に基づいて解答できている。 概要や算定ルールの理解度を図る問題を作成し評価する。	
				②	✓		
				③	✓		
				④			
	学修成果	小テスト		30	①	✓	小テスト及び作成した診療報酬明細書（レセプト）の提出。 出題範囲は各時点までの授業で学習した内容とする。
					②	✓	
					③	✓	
					④		
		レポート		0	①		
					②		
③							
④							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			0	①			
				②			
	③						
	④						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻、無断欠席など、学修意欲の欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に行うようにルールを守ることができる。（規律性） 「あいづち」や「うなづき」など話を聞く姿勢ができています。（傾聴力） 高い評価を得られることを目標とし、自発的に取り組むことができる。（主体性） 自分の苦手分野を見つけ自覚することができる（課題発見力） 最後までやり抜くことができる（実行力） 固定観念にとらわれずいろいろな方向から考えることができる（創造力） 自分の意見を他者に的確に述べるることができる（発信力） 		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> 授業態度（無断欠席をしない）。A（規律性） 欠席した際の講義内容を確認し、自ら学習し、学習意欲欠如をきたす行動をしない。S（規律性） 「あいづち」や「うなづき」など話を聞く姿勢ができています。 A（傾聴力） 見直し（復習）ができるよう、メモなどを取ることができる。 S（傾聴力） 高い評価を得られることを目標とし、自発的に取り組むことができる。A（主体性） 復習を繰り返して行い、継続した学習を行うことができる。S（主体性） 自分の苦手分野を見つけ自覚することができる。A（課題発見力） 苦手分野について、理解できるよう講師に自ら質問することができる。S（課題発見力） 最後までやり抜くことができる。A（実行力） 最期まで、積極的に講義に参加することができる。S（実行力） 固定観念にとらわれずいろいろな方向から考えることができる。A（創造力） 自分なり方向性を見つけ、実施することができる。S（創造力） 自分の意見を他者に的確に述べるることができる。A（発信力） 自分なりの意見について討論できる。S（発信力） 	<ul style="list-style-type: none"> ○小テスト・筆記試験において概ね70点以上の点数となっていて、授業態度も良好であればB（良）。 ○小テスト・筆記試験において概ね60点以上の点数となっていればC（可）。 （診療報酬制度の概略が理解されて、基本的なレセプト作成ができる）

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	医療保険制度の復習とレセプトの記載方法を学習する。	講義	保険情報のレセプト記載ができる。	(復習) レセプトの上書きを練習すること。 (予習) テキスト(請求事務の概要)を読むこと。	90	傾聴力 規律性
2	請求事務の概要 請求事務の全体像を学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	請求事務の全体像の理解ができた。	(復習) レセプトの上書きを練習すること。 (予習) テキスト(診察料)を読むこと。	90	傾聴力 規律性
3	初診・再診 診察料のレセプト記載について学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	診察料の考え方が理解できレセプト記載ができる。	(復習) 診察料のレセプト記載法を復習すること。 (予習) テキスト(医学管理・在宅)を読むこと。	90	傾聴力 規律性
4	医学管理・在宅 管理料のレセプト記載について学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	医学管理・在宅の考え方が理解でき、レセプト記載ができる。	(復習) 管理料のレセプト記載法を復習すること。 (予習) テキスト(投薬)を読むこと。	90	傾聴力 規律性
5	投薬 投薬料の算定についての原則を学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	投薬の基本的な考え方が理解できた。	(復習) 投薬の算定ルールを復習すること。 (予習) レセプト作成について、テキスト(投薬)を読むこと。	90	傾聴力 規律性
6	投薬 投薬料全体のレセプト記載について理解をする。	レセプト作成 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	投薬のレセプトの記載方法が理解できた。	(復習) 投薬のレセプト記載法を復習すること。 (予習) 上書きから医学管理・在宅まで一連のレセプトを作成すること。	90	主体性 実行力
7	投薬までのまとめ 前回までの内容の理解を深める。	レセプト作成 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	6週までの理解ができ、レセプト作成の基本が理解できた。	(復習) 出来なかった項目の再確認すること。 (予習) 上書きから投薬まで一連のレセプト作成をすること。	90	課題発見力 発信力
8	復習(確認) 前回までの内容の理解を深める。	小テスト 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	上書き～投薬までのレセプト記載ができる。	(復習) 出来なかった項目の再確認すること。 (予習) テキスト(注射・処置)を読むこと。	90	課題発見力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	注射・処置 注射・処置の算定についての原則を学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	注射・処置の基本的な考え方が理解できた。	(復習) 注射・処置の算定ルールを復習すること。 (予習) レセプト作成について、テキスト(注射・処置)を読むこと。	90	傾聴力 規律性
10	注射・処置 注射・処置のレセプト記載について理解をする。	レセプト作成 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	注射・処置のレセプトの記載方法が理解できた。	(復習) 注射・処置のレセプト記載法を復習すること。 (予習) テキスト(手術・麻酔)を読むこと。	90	主体性 実行力
11	手術・麻酔 手術・麻酔の基本的な考え方を理解する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	手術・麻酔の基本が理解できた。	(復習) レセプトを作成すること。 (予習) テキスト(検査)を読むこと。	90	傾聴力 規律性
12	検査 検査の基本的な考え方を理解し、レセプトの記載方法を学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	検査のレセプト記載方法が理解できた。	(復習) 出来なかった項目の再確認をすること。 (予習) 実際にレセプト(検査)を作成すること。	90	傾聴力 規律性
13	検査までのまとめ 前回までの内容の理解を深める。	レセプト作成 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	12週までの項目で基本的な内容が記載できる。	(復習) 出来なかった項目の再確認をすること。 (予習) テキスト(画像診断)を読むこと。	90	主体性 課題発見力
14	画像診断 画像診断の基本的な考え方を理解し、レセプトの記載方法を学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	画像診断のレセプトの記載方法が理解できた。	(復習) 画像診断のレセプト記載法を復習すること。 (予習) 上書きから画像診断まで一連のレセプトを作成すること。	90	傾聴力 規律性
15	総復習 診療報酬全体の総復習をし、理解を深める。	レセプト作成 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	全体のレセプト記載の基本ができる。	(復習) 出来なかった項目の再確認をし、レセプトを作成すること。	90	課題発見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力